

# 一人にしない教育者と、 一人にしない教育を

2006.01.27

**飯箸泰宏**

明治大学・慶応義塾大学・法政大学講師  
株式会社サイエンスハウス代表取締役

# 1.問題意識

- 双子の困難

学生の「社会性の欠落」と「知性なき丸暗記」

「やれば、できてしまう」を「やっていいこと」と思ってしまう青年たち。  
-そのまま、社会人になれば、ライブドア事件になる-

(1) 広範な社会性の発達障害、サイコパス化する若者の脳  
岡田尊司、「脳内汚染」、文芸春秋社(2005.12.15)

(2) 「出された課題に正解が書いてない」

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/10/11\\_a925.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/10/11_a925.html)

“知性なき丸暗記”と”節操なき丸写し” に恥を感じない学生たち

## 2.義務教育の問題

- 急増する小学生の教師への暴力

2005年9月23日の朝日新聞朝刊「小学生の校内暴力--先生相手 急増」

文部科学省が昨年度(2004年度)の調査結果を公表。

小学校の校内暴力は全体で27%増、内訳では子供同士や器物破損などの増加は10%だったものに対して、教師に対する暴力は33%増と突出している。

教師による子供たちへの斉一性への圧力こそが教育崩壊のエネルギー源であると思われる。

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/9\\_c332.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/9_c332.html)

## 3. やはりあった「教師の本音」

- 青木和雄、「ハートボイス--いつか翔べる日」、フォア文庫、金の星社(2004)

-----  
作者あとがき---青木和雄

・・・。  
ある中学を訪問したとき、「うちの学校にはいじめはありません。生徒たちには、自分の進学のことだけ考えるように指導しています。友だちと関わらないようにすればいじめも起きませんから」といった教師がいました。わたしが、子どもたちの「ハートボイス」を、本に書こうと思ったきっかけにもなる、重いことばでした。

・・・。

- 教師は、子供を孤立させる努力をしている。逆ではないのか?  
[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/11/14\\_3414\\_1.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/11/14_3414_1.html)

# 4.昔もあった 「教育心理学不毛論」

「教育心理学の不毛性論議のゆくえ」

<http://www.win-3.com/sake/mori-1.htm>

「日本における学校心理学の展望」

<http://homepage1.nifty.com/sc/jspa/kinenkouen.htm>

「[sigce 1048] シンポジウムのお知らせ」

<http://ce.tt.tuat.ac.jp/ML/sigce/msg00871.html>

いろいろな側面の問題が取り上げられ、精緻な議論がされているように感じれる。

しかし、そこでは次のような問題は語られていなかったようだ。

- (1) 学年制教育制度(学年で心理的発達段階が決まる?!)の限界
- (2) 「社会性の発達」が含まれていない「教育心理学」

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/6\\_9cb7.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/6_9cb7.html)

# 5. 教職課程用「教育心理学」の テキスト

- 2005年7月16日アマゾン(日本)で「教育心理学」を検索。
- 該当書籍336件。売行き順の上位10位以内で、教職課程用「教育心理学」のテキストを選択した。
- 石隈利紀,「学校心理学」,誠信書房(1999)--1位( 5.0個)
- 下山晴彦,「教育心理学(2)」,東京大学出版会(1998)--3位( 3.5個)
- 大村彰道,「教育心理学(1)」,東京大学出版会(1996)--4位( 4.0個)
- 多鹿秀継,「教育心理学」,サイエンス社(2001)--7位( 4.0個)
- 大村のテキスト以外は、「社会性の発達」をまったく扱っていない。
- 大村のテキストは、「社会的認識の獲得」はわずかに銀行の役割の理解など、金銭的な現象に対する認知を取り上げているが、金勘定以外の社会性は無視されている。
- ヒトの心理的発達において、「社会性の獲得・発展」は存在しないようである。
- 教育心理学にはピアジェの心理学がベースに採用されている。この理論に基づく教員養成においては、「形式的認知発達」にいたる11.5歳までの心理発達を理解し児童を支援することが指導されている。しかし、この理論には11.5歳までに社会性の育成にかかわる心理は一切存在していない。さらには、11.5歳以降の心理の発達は存在しないようになっている。

# ピアジェ理論補足

- 1) 感覚運動的知能期  
(period of sensory - moter intelligence) 0 ~ 2歳
- 2) 前操作期  
(preoperational period) 2 ~ 7歳
- 3) 具体的操作期  
(concrete operational period) 7 ~ 11, 12歳
- 4) 形式的操作期  
(formal operational period) 11, 12 ~ 14, 15歳

# 6. 超える努力

- 「社会性を育む」教育を進めるテキスト  
桜井茂男編,「たのしく学べる最新教育心理学」,図書文化(2004)  
「第9章 社会性を育む」があり、全体で19ページを割いている。  
堀野緑,濱口佳和,宮下一博編著,「子どものパーソナリティと社会性の発達」,  
北大路書房(2000年)
- 教職課程の授業で「社会性の発達」を教えているらしい先生方の例。

大阪府立大学の岡本真彦先生

<http://wwwhs.cias.osakafu-u.ac.jp/psy/DocJ/class.html#education>

千葉大学の林洋一先生

<http://www.l.chiba-u.ac.jp/Syllabus/undergraduate/2005/1st/intensive/824/>

宇都宮大学橘川真彦先生

<http://www.zuisousha.co.jp/book2/4-88748-015-6.htm>

江戸川大学柴田良一先生

[http://syllabus.edogawa-u.ac.jp/detail.php?oh\\_code=1270&nendo=2005](http://syllabus.edogawa-u.ac.jp/detail.php?oh_code=1270&nendo=2005)

大正大学柴田良一先生

<http://www.tais.ac.jp/syllabus/syllabus/3271.html>

- わんこ先生(崩壊した教室を立て直した小学校非常勤教諭)

<http://www.intelligentdog.net/kyousai/last.htm>

<http://www.geocities.co.jp/NeverLand/1554/>

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/2\\_4ce5.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/2_4ce5.html)

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/8\\_7e26.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/09/8_7e26.html)



# 7. 気がつけば全般的学習困難と 学習障害

- 学習障害

わたぼうし、「学習障害」、音楽の部屋

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/melody/learning.htm>

-----  
学習障害の特徴

話すことの難しさ

読むことの難しさ

書くことの難しさ

聞くことの難しさ

計算や推論の難しさ

運動動作の難しさ

行動の自己調整の難しさ

対人関係の難しさ

-----  
• 全般的学習困難(体感的存在率)

上記の特徴の1つ以上を持つものは、90%を超えている。

3つ以上持つもの(LD・ADHD・アスペルガーの可能性有り)は、5-6%。

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/10/10\\_737c.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/10/10_737c.html)

- 前頭葉機能の低下

岡田尊司、「脳内汚染」、文芸春秋社(2005.12.15)

## 学習障害の特徴

### 話すことの難しさ

話を聞いて理解することが困難です。

「いつ・だれが・どこで・なにを・どうした」などの文脈構成上の基本的な要素が欠落し、人が聞いてわかりやすいように話をすることが困難です。(事柄や順序を整理して話すことが苦手です。自分の経験を説明することが苦手です。)聞きもらしが多く、会話も一方的で話題がとびやすいことがあります。

### 読むことの難しさ

文字や文章を正確に(意味をとらえて)読むことが困難なことがあります。本を読んでいるときに、どこを読んでいるのかわからなくなる。問題なく話せるのに、似た文字の弁別にとまどったり、行をとばして読んだり重複読みをしたりします。(勝手に語尾を読み替える)。

### 書くことの難しさ

字を読んで理解できるのに、書字能力が困難な場合があります。ひらがな、カタカナ、漢字が、左右、上下が反転することがあります(鏡文字)。漢字に誤字が多いこともあります。作文や日記など、考えて書くことが苦手です。学童期には、板書が苦手、自分で書いた内容が理解できません。

### 聞くことの難しさ

集団の中での指示が理解できません。(指示を忘れて何度も聞き返します。) 2つ以上の指示は困難です。話を聞く時の「注意の集中」が持続しません。(話言葉中心の一斉授業の内容が聞き取れません)。(因果関係など)複雑な会話は理解困難です。

### 計算や推論の難しさ

数の概念が身につかず、数系列の規則性などが困難です。学童期では、足し算や引き算、くり上がりの計算などが苦手です。(短期記憶の障害のため、くり上がった数を忘れるために起こります)。筆算の桁がずれる間違いも多いです。文章問題も苦手です。(問題を理解して論理的に解決する力が乏しいために起こります)。

図形の特徴や概念がつかめない。(地図の見方が理解できない)時計や単位が理解しにくい。

移動教室や、ロッカーの場所が、なかなか覚えられない。

### 運動動作の難しさ

はさみの使用やボタン、ひも結びなど、手先が不器用なため、細かい作業が苦手です。手足の動きが不自然なことがあります。(バランスが悪く転びやすいこともあります)。縄跳びのような前進(ママ)の協応動作が困難です。音楽の拍子をとるのが苦手です。

### 行動の自己調整の難しさ

学童期には、授業中に立ち歩く、ぼんやりする、私語が多く、話が聞けない...ことがあります。順番を待つこともが苦手です。気に入らないことがあると我慢できず、乱暴な行動をとることがあります。一つの話題にこだわり、同じ質問、同じ話題を繰り返します。表情が乏しく、人見知りしてその場の環境になかなかなじみません。

### 対人関係の難しさ

相手の思いや感情を考えて、行動することが困難です。(人の嫌がることを言ったり、わがまを言ったりするため、自分勝手だと思われがちです)。状況判断が苦手です。人と関わる時の基本的な挨拶や礼儀が身につけていないことがあります。(これは、場面理解困難のために起こります)

1 「学習」というと「学力」を思いがちですが、私は「学力」に限定せず、「生活していく上で必要な技能を習得していく力」と考えた方がいいと思います。

2 学習障害の診断で間違いやすいのが、軽度の自閉症、アスペルガー症候群、軽度の知的障害です。これらの障害は「学習障害」とは指導方針がまったく違うため、慎重な鑑別が必要です。また、学習障害と密接な関係にあるものに「注意欠陥多動性障害(ADHD)」があります。注意の集中を続けることが難しい障害です。学習障害の子どもたちのおよそ半数以上は同時にADHDを持っているともいわれています。障害の鑑別も必要ですが、目の前の子どもたちにまず気を配ってあげることを忘れずに...。子どもたちがどのような援助を必要としているのかを重要視してください。そして、具体的な援助方法を考え、実施していくことが最も大切でしょう。

# 8. 社会の構造

～ 50-60万年前からヒトは社会を創り、前頭葉を発達させた～

## ユニット、メタ構造+ネットワーク、影響関係

社会は、ネットワークとメタ組織でできている

ネットワークとメタ組織は、いわば社会の横軸と縦軸

国民国家

それぞれの組織は、構成員が変わっても組織である。組織は、定常流の実在である。

矢印は、影響関係。主に、直線はメタ関係/曲線はネットワーク。

メタ組織は、抽象化を経て、国民国家に統合する。

人は、いくつもの組織に同時に参加できる。



上部団体の上部団体、メタメタ組織

上部団体、メタ組織

ネットワークは、時としてメタ組織の範囲を超えてゆく。

ユニット(班、グループ)

## 9.個性と社会性

- 俗説では背反する性質のように言われている。  
「一人遊びは個性を伸ばすから、ほうっておくのが良い」など。
- 正しくは、次のように言うべきであると思う。  
「個性なき社会性はない」  
「社会性のない個性は成立しない」  
個性(他にはない能力)がなければ社会的組織に入れない。社会的組織に参加せずには個性(他にはない能力)が磨かれない。  
「一人遊びは社会性をくじくから、ほうっておくべきではない」
- 発達心理学の人々もそう考えている。

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/5\\_8182.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/5_8182.html)

# 10. 記憶の社会性

表 ヒトの記憶とコンピュータの記憶

番号		人の記憶	コンピュータの記憶
1		感覚記憶	デバイスバッファ
2		短期記憶(STM)	入出力バッファ
3		作動記憶	ジョブコントロール
	3.1	中央制御系	中央制御系
	3.2	音韻ループ	音韻抽出
	3.3	視空間スケッチパッド	画像抽出
4		長期記憶(LTM)	コンピュータ上のデータ・情報・知識、プログラム
	4.1	陳述記憶	知識ベース
	4.1.1	エピソード記憶	事例ベース
	4.1.2	意味記憶	意味ネットワーク(コンピュータ上の知識の一つ)
	4.1.3	構造化(メタ化)記憶	フレーム(コンピュータ上の知識の一つ)
	4.2	非陳述記憶	推論エンジン
	4.2.1	手続き記憶	プロダクション・ルール(デコーダ)
	4.2.2	プライミング	ZigZag(意味ネットのノードが事例または知識ユニット)
	4.2.3	社会的配慮	予期駆動型フレーム(デコーダ)
5		自伝的記憶	ヒストリーログ
6		展望的記憶	クrontap

曼荼羅的世界観

「人の記憶」については、ラリー・スクワイア著「記憶と脳、心理学と神経科学の統合」(医学書院)から

- [http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/3\\_e921.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/08/3_e921.html)

# 11. 多すぎる、社会性の発達阻害 の原因

表 認知の構造化の阻害

A 社会性の獲得の段階 ( 発達阻害の段階)	
0-3歳ころ	家族の存在を知る、はず。( 家族の崩壊)
3-7歳ころ	他の家族の存在や複数の友達グループを知る、はず。( 一人遊びから仲間遊びへの誘導の欠如、「一人遊びは個性を育てる」という誤解、テレビゲームによる脳の破壊)
7-10歳ころ	グループ間の関係や家族間などのネットワークと、仲間-クラスや家族-地域社会などのメタ組織を知る、はず。( アイデンティティへの抑圧、テレビゲームによる脳の破壊)
10歳ころ	異性を意識して社会に眼が開く、はず。( 社会の仕組みを教えずにセックスを教える学校現場とそれを「先進事例」ともてはやすマスコミ、テレビゲームによる脳の破壊)
10歳以上	組織間の関係の高度な構造を理解する、はず。( 団体活動への非参加、知性なき丸暗記の強制、テレビゲームによる脳の破壊)
B 社会性の高度化の段階	
10歳程度を境にして、青年は、認知の構造化に目覚める、はず。( 団体活動は少なく、知性なき丸暗記の強制は続く、テレビゲームによる脳の破壊)	



## 12.我々にできること(例)

- (1) 協調学習
- (2) キャンパスメイト制の採用
- (3) 学生生活何でも相談制度(次ページ参照)
- (4) 教職課程の改善
- (5) ニート再教育
- (6) 小中高教員の再教育
- (7) 大学教員の教授法研修

すべては、「一人にしない教育」のために  
教育のシステム化も「一人にしない教育」のために

[http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2006/01/18\\_c10a.html](http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2006/01/18_c10a.html)

## なんでも相談

なんでも相談「学生支援室」では、学生生活におけるあらゆる相談(どんな小さなことでも)を受け付けています。

勉強や進路・就職に関することはもちろん、スポーツや課外活動での心配ごとやトラブル、  
 なんとなく体がだるくてやる気がおきないなど健康一般について、性問題全般・男女関係のトラブル等もお聞きます。

### 教えて 大先輩!

平成17年10月から、千葉大卒業の先輩が在室(水曜日13:00~17:00)していただきます。  
 いろいろな悩みごと、就職のことなど気軽に相談に来てください。

その他、要望等も受け付けています。遠慮なくお立ち寄りください。

個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守します。安心して相談してください。

### ※学生支援室(なんでも相談)

学生支援室(なんでも相談)では、学生相談員の先生方及びグランドフェローの先生方が相談に応じます。予約は不要です。先生方の在室日は、次のとおりです。遠慮なくお立ち寄りください。

- 場所 福利厚生施設2階(生協トラベルセンターの上)
- 開室日および時間帯  
 月曜日から金曜日 9時~17時

曜日・時間	9:00~10:20	10:30~12:00	12:00~12:50	13:00~14:20	14:30~16:00	16:00~17:00
月	教育学部 教授 宮野 モモ子	グランドフェロー 隈部 智雄	グランドフェロー (性問題全般, 男女関係のトラブル等) 武田 敏夫	教育学部 助教授 中西 僚太郎	グランドフェロー 大野 隆司	法経学部 教授 安孫子 誠男
火	グランドフェロー 相見 則郎	グランドフェロー 相見 則郎 教育実践センター 助教授 笠井 孝久 (TA)	グランドフェロー 内海 俊策	グランドフェロー 中川 良三	教育実践センター 教授 保坂 亨 (TA)	教育学部 教授 宮野 モモ子
水		自然科学研究科 教授 上杉 英樹	工学部 助教授 佐藤 建吉	自然科学研究科 教授 岩館 泰彦 13:30~14:30 教えて大先輩! 岩淵 桂子 13:00~17:00	工学部 教授 星野 勝義 教えて大先輩! 岩淵 桂子 13:00~17:00	教えて大先輩! 岩淵 桂子



終わり